

火災多発による注意喚起について

冬季間に入り当消防本部管内では、住宅火災による犠牲者が多数発生しています。

ストーブなど暖房器具の近くに燃えやすいものを置いてはいませんか？逃げ遅れを防ぐためにも、住宅用火災警報器の作動状況や避難経路・避難方法の確認をしましょう。

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

4つの習慣



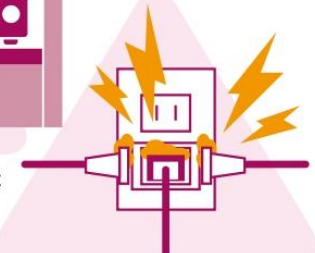
1 寝たばこは絶対にしない、させない



2 ストーブの周りに燃えやすいものを置かない



3 こんろを使うときは火のそばを離れない



4 コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う